

第1号議案

平成22年度事業報告

平成22年6月15日（火）東京都中央区・八重洲富士屋ホテルにおける第7回定時社員総会で決定された平成22年度事業計画に基づき実施した事業について下記のとおり報告いたします。

平成22年度基本方針と活動

1. **基本となる冷凍めん生産工場の品質保証システム構築への取組みをさらに強化する。**
 - ・新基準の品質保証体制構築の項目を一部使用し工場検査を実施。改善に向けた問題提起を行った。
 - ・会員工場の品質管理支援ツールとして「品質マニュアル類14種類ひな形」に引き続き、「必要な記録類のひな形」を会員向けホームページに掲載し、会員企業に提示した。
 - ・日本冷凍めん協会主催の会員企業向けセミナーを東京、大阪会場で実施、会員企業各社における品質保証体制構築の重要性を啓発した。
2. **日本冷凍めん協会が関係企業と取り組む品質保証、RMK認定マーク制度について市場にアピールする。**
 - ・RMK認定マーク制度に基づく「品質保証体制構築」の取組みを、ホームページに「安全安心への取組み」として掲載、一般消費者、流通業界等に開示した。それと共に日本冷凍めん協会は、関連企業一丸となって、冷凍めんのおいしさ、安全確保に取り組んでいること、及び、冷凍めん協会がどのような団体かを理解して頂く為、会員企業名をホームページに掲載、特に「RMK認定マーク」付き冷凍めんについては、日本冷凍めん協会に参画する企業全体で「おいしさ、安全安心」に努めていることをアピールした。
3. **冷凍めんの普及活動を強化推進する。**
 - ・過去2年間、品質保証体制構築に向けての事業に傾注しての事業活動であったが、平成22年度、2年余り活動が休止状態であった情報委員会を新たに編成し、当協会の取組みや、冷凍めんの普及活動を広く一般に知らせる為、「10月10日冷凍めんの日」のイベントを計画実行した。また、ホームページの改善充実、レシピコンテスト等実施し、広報活動の推進増強を図った。

I. 組織の概況について

1、会 員 数 (平成23年3月31日現在)

計 141事業所

一般会員

A会員 23 (冷凍めんの製造を行わない全麵連傘下会員並びに組合員)

A'会員 13 (冷凍めんの製造を行わない全麵連傘下会員)

B会員 21 (冷凍めんの製造販売を行う全麵連傘下会員並びに組合員)

C会員 59 (その他、冷凍めんの製造販売を行う企業)

特別会員 3 (理事会において定める企業)

準会員 22 (冷凍めんに関する機器資材企業)

本年はA'会員1社減、B会員4社減、C会員2社減、2社増、準会員1社減と総数で6社減となった。

2、役 員 数

理 事 14名 (会長1名、副会長5名、専務理事1名、理事7名)

監 事 2名

3、役 員 名

<役員名>

(所属会社の役職は平成23年3月31日現在)

会 長

木下紀夫 (きのした のりお)

(シマダヤ株式会社代表取締役社長)

副会長・会長代行

木林靖治 (きばやし やすじ)

(株式会社キンレイ代表取締役社長)

副会長

安田征伍 (やすだ ゆきかず)

(全国製麵協同組合連合会会長)

同

山田良一 (やまだ りょういち)

(テーブルマーク株式会社代表取締役社長)

同

左山 実 (さやま みのる)

(日清製粉株式会社専務取締役)

同

大澤吉男 (おおさわ よしお)

(日本製粉株式会社取締役常務執行役員)

専務理事

那須保信 (なす やすのぶ)

(シマダヤ株式会社人事・総務部所属)

会計担当理事

二口信男 (ふたくち のぶお)

(フレッシュ・フード・サービス株式会社代表取締役社長)

同

近藤英次 (こんどう えいじ)

(東洋水産株式会社執行役員)

理事

小松原義親 (こまつばら よしちか)

(日清食品冷凍株式会社取締役)

| | |
|--------|--|
| 同 | 西山隆司 (にしやま たかし) (西山製麺株式会社代表取締役社長) |
| 同 | 野口和孝 (のぐち かずたか) (マ・マーマカロニ株式会社代表取締役社長) |
| 理事・相談役 | 新倉英隆 (にいくら ひでたか) (オリエンタル酵母工業株式会社顧問) |
| 理事・相談役 | 米澤 實 (よねざわみのる) (ヤマヨ株式会社代表取締役会長) |
| 監 事 | 清都崇史 (きよと たかふみ) (日本リッチ株式会社代表取締役社長) |
| 同 | 服部 進 (はっとり すすむ) (合資会社服部製麺所代表社員) |

II. 主な会議、委員会等の開催と審議事項

1、社員総会

第7回定時社員総会 平成22年6月15日(火)

東京・八重洲富士屋ホテル

第1号議案から第6号議案まで異議なく承認可決された。

- (1) 第1号議案 平成21年度事業報告承認の件
- (2) 第2号議案 平成21年度決算報告承認の件
- (3) 第3号議案 平成22年度事業計画決定の件
- (4) 第4号議案 平成22年度収支予算決定の件
一収入の部、支出の部 62,207,162円
- (5) 第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件
- (6) 第6号議案 定款一部改定の件

2、理事会

- (1) 第1回：平成22年5月20日(木) 東京・全麺連会館 4階会議室
 - ① 第7回定時社員総会提出議案について
 - ② 役員任期満了に伴う改選及び定款一部改定について
 - ③ 2年余り活動休止状態であった情報委員会立ち上げ決定
- (2) 第2回：平成22年6月15日(火) 東京・八重洲富士屋ホテル 朱竹の間
 - ① 役付き理事選任の件
- (3) 第3回：平成22年7月8日(木) 書面決議
 - ① RMK マーク認定3工場入会の承認
- (4) 第4回：平成22年9月16日(木) 東京・全麺連会館 4階会議室
 - ① JAS規格から冷凍食品、冷凍めんの項目削除について
 - ② 平成22年度活動の進捗報告(技術委員会、情報委員会)
 - ③ 前専務理事(杉谷氏)の退職金について

(5) 第5回：平成23年3月23日（水）書面決議

(3/11 大震災により 3/15 理事会予定の変更)

- ①東日本大震災義援金について
- ②技術委員会活動平成23年度施策について
- ③情報委員会活動平成23年度施策について
- ④その他活動平成23年度施策について

3、会計監査会 平成22年5月20日（木）東京・全麵連会館 5階会議室
平成21年度事業報告、財産目録、貸借対照表および損益計算書の監査

4、技術委員会

(1) 第1回：平成22年4月27日（火）東京・全麵連会館 4階会議室

- ①平成21年度工場検査結果の報告
- ②平成22年度の工場検査の進め方について
- ③平成22年度会員工場品質管理支援の検討
・記録表ひな形のHP掲載を決定

(2) 第2回：平成22年7月21日（火）東京・全麵連会館 4階会議室

- ①記録表ひな形の作成に向けた作業の進捗と今後の作業
・リスト作成、役割分担し記録表の提供とメールでの内容確認を決める。
- ②HP「安全安心への取り組み」窓口掲載内容確認作業の検討
・特に技術委員会では内容、文言について確認、メールでの回答決める。
- ③HPに載せる会員リストの確認

(3) 第3回：平成22年10月29日（火）東京・全麵連会館 4階会議室

- ①記録表ひな形HP会員限定サイト掲載状況の確認
- ②日本冷凍めん協会ホームページ改善について
・品質保証窓口の設置と会員リスト等内容確認
- ③RMK認定工場検査の進捗報告
・製品検査含めての確認
- ④平成23年度活動施策の方向性について討議

(4) 平成22年12月1日（水）東京・全麵連会館 4階会議室

◎技術委員会事務局会と監査員（ULASGJ）の平成22年度監査報告会

- ①各工場ごとの監査報告
- ②各工場の状況の討議
- ③平成23年度の工場検査の方向性についての意見交換

(5) 第4回：平成23年2月10日（木）東京・全麵連会館 4階会議室

◎平成23年度の活動について方針と具体的な施策を検討

- ①平成23年度RMK認定工場工場検査について
- ②定期製品検査と工場への衛生指導について
- ③会員工場品質管理支援ツールについて
- ④情報委員会とのリンクについて

5、情報委員会

- (1) 第1回：平成22年6月3日(木) 東京・全麺連会館 4階会議室
- ◎委員長と事務局会にて事前に素案を急遽検討(5/25)
 - ◎発足式を兼ね、平成22年度の広報活動について決定した。
 - ①新規10/10冷凍めんの日イベント実施
 - ②新規レシピコンテストの実施
 - ③HP改善についての討議。
 - ④その他、継続事項説明。
- (2) 第2回：平成22年7月30日(金) 東京・全麺連会館 4階会議室
- ①「冷凍めんの日10/10」ファーマーズマーケットタイアップ
 - ・10/9,10の催し物内容、メディア露出度等について確認
 - ②日本冷凍めん協会ホームページ改善
 - ・安全安心への取り組み掲載、見せ方についての検討
 - ・イベントの広報、レシピ増強等の進捗確認及び検討
- (3) 第3回：平成22年11月5日(金) 東京・全麺連会館 4階会議室
- ①「冷凍めんの日10/10」ファーマーズマーケット
 - ・イベントの報告と来年度への方向性検討
 - ②日本冷凍めん協会ホームページ改善について
 - ・安全安心への取り組み、メニュー、記録表ひな形掲載状況確認
 - ・ホームページへのアクセス数報告
 - ③来年度に向けての冷凍めん普及、啓蒙活動について討議
 - ・平成23年度へ向け、施策ごとの意見を事務局に上げることを決定
- (4) 第4回：平成23年1月14日(金) 東京・全麺連会館 4階会議室
- ◎各委員の意見を事務局会でまとめ23年度施策素案を作成し討議
 - ①「冷凍めんの日10/10」イベント ②ホームページ改善
 - ③レシピコンテスト ④高校生小論文コンテスト協賛
 - ⑤冷凍めん生産数量算出について ⑥その他
- (5) 第5回：平成23年2月18日(金) 東京・全麺連会館 4階会議室
- ◎平成23年度の活動について方針と具体的な施策を検討
 - ①「冷凍めんの日10/10」イベント
 - ・イベント支援ツールの作成を新たに決定
 - ②冷凍めんの冊子作成を決定
 - ③新たな形でのレシピコンテスト実施を決定
 - ④その他

Ⅲ. RMK認定マークの品質保証制度の推進活動について

1、認定工場検査実施

(1) 工場検査の実施

- ①平成22年度は、平成21年度改定した新基準を試験的に一部使用し

工場検査を実施した。評価は旧基準で実施した、平成23年度の方向性を打ち出す為、新基準でのチェックも利用、事務局として一部監査立ち合いも実施、RMK認定工場の今後の指導方法を検討した。

②品質保証制度の確立には、会員企業の十分な理解が必要と考え、検査実施に合わせて、可能な範囲で工場検査の立ち合い、また、セミナーを通し“会員企業各社における品質保証体制構築の重要性の啓発”に取組み、RMK認定マークの品質保証制度改定に対する会員企業の理解を得ることに努めた。

(2) 製品一斉検査事業について

①製品検査は、2回実施した。

- ・項目：一般生菌数、大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌
：食味、形態

夏期 平成22年7月21日より8月24日の間に実施。

前回夏より一般生菌数において300/g以下の製品が昨年対比1%上回り、ほぼ同等、大腸菌群の検出検体数21検体から7検体に減った。

冬期 平成23年2月14日より3月11日の間に実施。

前回冬より一般生菌数において300/g以下の製品が昨年対比9%上回り、良い結果であったが、大腸菌群検出検体数は4検体から9検体に増加した。

2、品質保証体制構築に向けての会員企業への支援

- ①「必要な記録表のひな形」を作成し、会員向けホームページに掲載
- ②再度、会員向けホームページへのアクセス利用促進
 - ・会員企業にID登録の通知を再度出し、概ねの会員企業が登録された。
 - ・支援情報、関係省庁情報を迅速に会員へ提供できる様になった。

3、研修・セミナー等に関する活動について

(1) 平成22年11月2日(火) 東京会場(目黒雅叙園)

(2) 平成22年11月10日(水) 大阪会場(堂島ホテル)

講演

①食品の安全・安心の構築の土台 - 食品衛生7S

『整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・躰・清潔』

講師 株式会社角野品質管理研究所 代表取締役 角野 久史 氏

②RMK新基準と工場検査の現状について

講師 株式会社イーエムエスジャパン

ソリューション開発2部 部長

シニアコンサルタント 酒徳 泰行 氏

IV. 広報活動等に関する事業について

1、「冷凍めんの日」イベント IN ファーマーズマーケット

◎農林水産省が支援するファーマーズマーケットに日本冷凍めん協会として、キッチンカーを配し、ファーマーズマーケットの野菜を使ってのうどんメニューを試食品として来場者に提供、冷凍めんの美味しさを広めた。また、メディアへプレスリリースを含め発信、冷凍めんの普及、認知度を上げた。

- (1) 平成22年10月9日(土)～10日(日) 10時～16時
- (2) 青山ファーマーズマーケット@UNO 国連大学広場
- (3) ポスター掲載、チラシ配布、メディアへの発信等を実施
- (4) 2日間16000人の来場者に対し、2メニュー2080食を提供

2、ホームページ改善

- (1) 「安全・安心への取り組み」の窓口を10月より設置
 - ・10月のこのページへのアクセス数がレシピページの次に多くあり安全安心への関心度の高さが示された。
- (2) 「記録表ひな形」の会員工場品質管理支援として会員サイト掲載
 - ・掲載通知と同時に会員サイトへ入る為のID登録の通知を出し、ほぼすべての会員が登録を済ませた。会員サイトの利用推進及びそれ以後の関係省庁情報等のサイト掲載と会員への発信の効率を上げることが出来た。
- (3) レシピコンテストの入賞レシピを掲載し、充実を図った。

3、レシピコンテスト

◎レシピの充実を図ると共に消費者や料理を教える立場の先生方に冷凍めんの認知度向上を図れた。

- (1) テーマ：我が家のこだわり・オリジナル「カレーうどん」
- (2) ホームメイド協会 関東1都6県 約50校へ募集
 - ・募集の際、冷凍めん協会の取り組み等を盛り込んだ広報も展開した。
- (3) 平成22年7月13日～8月31日
 - ・100名より100メニュー応募
 - ・10メニューの入選作を決定、ホームページで発表、掲載

4、高校生小論文コンテスト

◎文部科学省の後援を受け、高校生の学力向上の一翼を担う目的で行われている「第10回インターネットによる高校生小論文コンテスト」毎日新聞主催に協賛。

- (1) 開催期間2010年4月2日～8月20日
- (2) 協賛には学校法人が多い中、日本冷凍めん協会は異色の存在である
- (3) 週刊誌「サンデー毎日」、毎日新聞社情報サイト「毎日.jp」へのメディア露出度が高く、冷凍めん及び協会の存在をアピール出来た。
- (4) 社会貢献の一翼も担えた。

V. 市場規模および平成22年生産食数の公式発表（当協会調べ）について

平成22年1月から12月の当協会調べの冷凍めんの市場規模、生産食数は次のとおりとなり公式発表した。

なお、本資料は農林水産省をはじめ報道関係の一般紙新聞社、食品産業界の新聞および雑誌に配布した。

1、市場規模（協会推定数字）

（1）生産食数

| | | |
|---------------|-------------|-------------------|
| 業務用（比率 50.2%） | 1 3 億 3 千万食 | （前年比 9 7 . 0 %） |
| 家庭用（比率 49.8%） | 1 3 億 2 千万食 | （前年比 1 0 8 . 2 %） |
| 合計 | 2 6 億 5 千万食 | （前年比 1 0 2 . 3 %） |

（2）生産額

1, 6 3 5 億 5 千万円 （前年比 1 0 0 . 5 %）

VI. その他の活動

1、財政基盤の強化

事業の一層の充実と協会の運営基盤の安定のため「RMK認定マーク」の付与を推進し、認定マーク数量の申告の拡大を図った。結果は昨年対比 120.48%と大幅に伸びた。

2、東日本大震災への対応

平成23年3月11日の東日本大震災において、RMK認定6工場、及び準会員の工場・倉庫等が被害に遭われました。協会としては被害状況の情報収集を行いました。会員の方からも、何か出来ることがあればしますというお申し出もございましたが、まずは理事会の承認を受け、義援金として日本赤十字社に100万円を寄付しました。

| | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------|--------------------------|--|--------------|-----------------|-------------|--|------------|--|
| 第2号議案 | | | | | | | | | |
| | | | | 平成22年度決算報告書 | | | | | |
| 1、財産目録 | | | | 平成23年3月31日現在 | | | | | |
| 資 産 の 部 | | | | | | | | | |
| 科 目 | | 摘 要 | | | | 金 額 | | | |
| 1・現 | 金 | 手許在高 | | | | 45,418 | | | |
| 2・普 | 通 預 金 | 三菱東京UFJ銀行本所支店No.0752285 | | | | 20,014,678 | | | |
| 3・普 | 通 預 金 | 三菱東京UFJ銀行錦糸町支店No.0700165 | | | | 3,001,675 | | | |
| 4・売 | 掛 金 | 冷凍めんRMK認定数量(平成23年1月-3月分) | | | | 13,576,638 | | | |
| 5・未 | 収 入 金 | 会費1社 | | | | 50,000 | | | |
| 資産合計 | | | | | | | | 36,688,409 | |
| 負 債 の 部 | | | | | | | | | |
| 科 目 | | 摘 要 | | | | 金 額 | | | |
| 預 | | り 金 | | | | 9,600 | | | |
| 1・未 | 払 金 | イベント費、製品検査費、その他 | | | | 2,731,347 | | | |
| 2・未 | 払 法 人 税 等 | 当期法人税等確定分 | | | | 4,969,500 | | | |
| 3・未 | 払 消 費 税 等 | 当期消費税等確定分 | | | | 993,700 | | | |
| 4・役 | 員 退 職 給 与 引 当 金 | 役員退職給与引当金 | | | | 650,000 | | | |
| 負債合計 | | | | | | | | 9,354,147 | |
| 差 引 正 味 財 産 | | | | | | | | 27,334,262 | |
| 2、貸借対照表 | | | | 平成23年3月31日現在 | | | | | |
| 資 産 の 部 | | | | 負 債・資 本 の 部 | | | | | |
| 科 目 | | 金 額 | | 科 目 | | 金 額 | | | |
| 1・現 | 金 | 45,418 | | 1・預 | り 金 | 9,600 | | | |
| 2・普 | 通 預 金 | 20,014,678 | | 2・未 | 払 金 | 2,731,347 | | | |
| 3・普 | 通 預 金 | 3,001,675 | | 3・未 | 払 法 人 税 等 | 4,969,500 | | | |
| 4・売 | 掛 金 | 13,576,638 | | 4・未 | 払 消 費 税 等 | 993,700 | | | |
| 5・未 | 収 入 金 | 50,000 | | 5・役 | 員 退 職 給 与 引 当 金 | 650,000 | | | |
| | | | | 負 債 合 計 | | 9,354,147 | | | |
| | | | | 6・基 | | 金 | | 3,000,000 | |
| | | | | 7・損 | | 失 準 備 金 | | 573,000 | |
| | | | | 8・当 | | 期 利 益 金 | | 11,564,100 | |
| | | | | 9・前 | | 期 繰 越 剰 余 金 | | 12,197,162 | |
| | | | | 資 本 合 計 | | 27,334,262 | | | |
| 資 産 合 計 | | 36,688,409 | | 負 債・資 本 合 計 | | 36,688,409 | | | |

| | | 自平成22年4月 1日 | | | | |
|-----------------------|------------|-----------------------|------|----|------------|-------|
| 3、損益計算書 | | 至平成23年3月31日 | | | | |
| 支出の部 | | 収入の部 | | | | |
| 科目 | 金額(円) | 科目 | | | | 金額(円) |
| 1・ 団 体 会 費 | 1,700,000 | 1・ A 会 費 | 1 X | 23 | 230,000 | |
| 2・ 製 品 検 査 費 | 2,746,200 | 2・ A' 会 費 | 2 X | 13 | 260,000 | |
| 3・ 広 報 活 動 費 | 11,301,723 | 3・ B 会 費 | 7 X | 21 | 1,470,000 | |
| 4・ 訪 問 検 査 関 係 費 | 8,120,000 | 4・ C 会 費 | 10 X | 59 | 5,900,000 | |
| 5・ 研 修 会 関 係 費 | 1,562,212 | 5・ 準 会 費 | 5 X | 20 | 1,100,000 | |
| 6・ 調 査 研 究 費 | 0 | 6・ 特 会 費 | 10 X | 3 | 300,000 | |
| 7・ 工 場 巡 回 費 | 838,528 | (会 費 収 入 合 計) | | | 9,260,000 | |
| 8・ 役 員 報 酬 | 7,975,000 | 7・ 認 定 マ ー ク 料 | | | 55,296,209 | |
| 9・ 法 定 福 利 費 | 779,935 | 8・ 入 会 金 | | | 150,000 | |
| 10・ 厚 生 費 | 369,141 | 9・ 収 入 利 息 | | | 5,339 | |
| 11・ 事 務 委 託 費 | 4,952,381 | 10・ 役 員 退 職 引 当 取 崩 益 | | | 1,950,000 | |
| 12・ 旅 費 ・ 交 通 費 | 275,656 | 12・ そ の 他 収 入 | | | 208,693 | |
| 13・ 賃 借 料 | 660,000 | (そ の 他 収 入 合 計) | | | 57,610,241 | |
| 14・ 通 信 費 | 480,726 | | | | | |
| 15・ 総 会 関 係 費 | 933,065 | | | | | |
| 16・ 理 事 会 関 係 費 | 475,452 | | | | | |
| 17・ 委 員 会 ・ 部 会 関 係 費 | 796,556 | | | | | |
| 18・ 会 議 関 係 費 | 677,525 | | | | | |
| 19・ 事 務 用 品 費 | 279,795 | | | | | |
| 20・ 支 払 手 数 料 | 80,000 | | | | | |
| 21・ 慶 弔 費 | 70,000 | | | | | |
| 22・ 新 聞 図 書 費 | 142,617 | | | | | |
| 23・ 印 刷 関 係 費 | 0 | | | | | |
| 24・ 減 価 償 却 費 | 0 | | | | | |
| 25・ 顧 問 料 報 酬 | 384,000 | | | | | |
| 26・ 役 員 退 職 引 当 | 650,000 | | | | | |
| 27・ 役 員 退 職 金 | 1,950,000 | | | | | |
| 28・ 予 備 費 | 0 | | | | | |
| 29・ 公 租 公 課 | 15,965 | | | | | |
| 30・ 震 災 寄 付 金 | 1,000,000 | | | | | |
| 31・ そ の 他 経 費 | 280,000 | | | | | |
| 支 出 合 計 | 49,496,477 | 収 入 合 計 | | | 66,870,241 | |
| 経 常 利 益 | 17,373,764 | 前 期 繰 越 剰 余 金 | | | 12,197,162 | |
| 法 人 ・ 住 民 ・ 事 業 税 | 5,809,664 | | | | | |
| 当 期 利 益 金 | 11,564,100 | | | | | |
| 前 期 繰 越 剰 余 金 | 12,197,162 | | | | | |
| 総 合 計 | 79,067,403 | 総 合 計 | | | 79,067,403 | |

| 4、22年度支出予算対比表 | | | |
|-----------------------|------------|------------|------------|
| 科目 | 実績金額 | 予算金額 | 差異 |
| 1・ 団 体 会 費 | 1,700,000 | 1,700,000 | 0 |
| 2・ 製 品 検 査 費 | 2,746,200 | 3,000,000 | -253,800 |
| 3・ 広 報 活 動 費 | 11,301,723 | 12,500,000 | -1,198,277 |
| 4・ 訪 問 検 査 関 係 費 | 8,120,000 | 9,000,000 | -880,000 |
| 5・ 研 修 会 関 係 費 | 1,562,212 | 3,000,000 | -1,437,788 |
| 6・ 調 査 研 究 関 係 費 | 0 | 0 | 0 |
| 7・ 工 場 巡 回 関 係 費 | 838,528 | 1,000,000 | -161,472 |
| 8・ 役 員 報 酬 | 7,975,000 | 7,800,000 | 175,000 |
| 9・ 法 定 福 利 費 | 779,935 | 1,325,000 | -545,065 |
| 10・ 厚 生 費 | 369,141 | 340,000 | 29,141 |
| 11・ 事 務 委 託 費 | 4,952,381 | 5,000,000 | -47,619 |
| 12・ 旅 費 ・ 交 通 費 | 275,656 | 320,000 | -44,344 |
| 13・ 賃 借 料 | 660,000 | 660,000 | 0 |
| 14・ 通 信 費 | 480,726 | 600,000 | -119,274 |
| 15・ 総 会 関 係 費 | 933,065 | 650,000 | 283,065 |
| 16・ 理 事 会 関 係 費 | 475,452 | 500,000 | -24,548 |
| 17・ 委 員 会 ・ 部 会 関 係 費 | 796,556 | 400,000 | 396,556 |
| 18・ 会 議 関 係 費 | 677,525 | 400,000 | 277,525 |
| 19・ 事 務 用 品 費 | 279,795 | 300,000 | -20,205 |
| 20・ 支 払 手 数 料 | 80,000 | 130,000 | -50,000 |
| 21・ 慶 弔 費 | 70,000 | 100,000 | -30,000 |
| 22・ 新 聞 図 書 費 | 142,617 | 80,000 | 62,617 |
| 23・ 印 刷 関 係 費 | | 0 | 0 |
| 24・ 公 租 公 課 | 15,965 | 35,000 | -19,035 |
| 25・ 顧 問 料 報 酬 | 384,000 | 380,000 | 4,000 |
| 26・ 消 費 税 等 | | | 0 |
| 27・ 役 員 退 職 引 当 | 650,000 | 650,000 | 0 |
| 28・ 役 員 退 職 金 | 1,950,000 | | 1,950,000 |
| 29・ 雑 損 失 | 280,000 | 0 | 280,000 |
| 30・ 震 災 寄 付 金 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| 31・ 予 備 費 | | 100,000 | -100,000 |
| 32・ そ の 他 経 費 | 0 | 0 | 0 |
| 費 用 合 計 | 49,496,477 | 49,970,000 | -473,523 |

5、剰余金処分（案）

| | |
|--------------|-------------|
| （1） 当期末処分剰余金 | 23,761,262円 |
| 当期利益 | 11,564,100円 |
| 前期繰越剰余金 | 12,197,162円 |

| | |
|-----------|----|
| （2） 当期処分額 | |
| 損失準備金 | 0円 |

| | |
|-------------|-------------|
| （3） 次期繰越剰余金 | 23,761,262円 |
|-------------|-------------|

平成23年5月19日

| | |
|--------|----------|
| 一般社団法人 | 日本冷凍めん協会 |
| 代表理事 | 木下紀夫 |
| 副会長 | 木林靖治 |
| 副会長 | 安田征伍 |
| 副会長 | 山田良一 |
| 副会長 | 左山実 |
| 副会長 | 大澤吉男 |
| 専務理事 | 那須保信 |
| 理事 | 二口信男 |
| 理事 | 近藤英次 |
| 理事 | 西山隆司 |
| 理事 | 小松原義親 |
| 理事 | 野口和孝 |
| 理事・相談役 | 新倉英隆 |
| 理事・相談役 | 米澤實 |
| 監事 | 清都崇史 |
| 監事 | 服部進 |

監 査 意 見 書

平成23年5月19日会長から提出された平成22年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書および剰余金処分案の各項目について監査を実施したところ、その内容は適正、適法なものと認めます。

平成23年5月19日

一般社団法人日本冷凍めん協会

監 事 清 都 崇 史

監 事 服 部 進

平成23年度事業計画

昨年度の食品業界は TPP への加入等の議論があり、今後の日本の食料自給から、食品原料の供給不安等へ繋がったものの、大きな食品事故はなく、平穩に過ぎました。しかし、平成23年3月11日の東日本大震災により、多くの犠牲者、壊滅的な被害が出ました。更に福島第一原子力発電所の甚大な被害により放射能漏れが起こり、近県への放射性物質の拡散、農作物、海産物、水への汚染が大変心配するところであります。RMK認定6工場・準会員様にも被害があり、改めてお見舞い申し上げます。

被災地の復興は当然急がれるところでありますが、安全な原材料、使用水の確保、資材の調達、夏場に向けた節電要求等々、今だ不透明な環境が進行形の中、国内外共に食に対し厳しい目が向けられ、確かな「食品の安全・安心」が一層求められています。

昨年、日本冷凍めん協会では、平成21年度に設けた新しい基準を一部使い、平成22年度工場検査を実施しました。この結果として平成23年度の工場検査の方向性を見出すことが出来ました。

また、2年間休止状態であった情報委員会を22年度は立ち上げ、冷凍めんのおいしさと安全性、RMKマークの普及のため、広報活動を展開してきました。それらを基軸として、今年度の活動について議論を十分行ってきました。

広報活動再開の一因にもなった、平成21年度の「冷凍めん」の生産量の減少も、平成22年度は増加に転じ、それと共に RMK マークの申請は伸びを示し、安全安心のマークとして一歩前進したものと考えられます。

以上の認識のもと、当協会は、下記の基本方針に則し今年度の事業を計画し、更に、RMK認定工場のレベルアップ、冷凍めんの普及に努めて参ります。

I. 平成23年度基本方針

1. **RMK マーク認定新基準の平成24年度本格導入に向けた工場指導をメイン施策とする。**
 - ・改善が望まれる工場指導の強化とそれに伴う予算投入
 - ・品質管理の為に会員工場支援ツール作成と情報提供を継続
2. **冷凍めんの普及・啓発を図るとともに、RMK 認定マーク制度の認知度向上など協会の取り組みを訴求する。**

◎冷凍めんの美味しさと価値を訴求する為に、話題喚起も図りながら、バランスの取れたプロモーションを実施する。

- ・話題喚起：青山ファーマーズマーケットでのイベント、チーズ普及協議会とのタ

イアアップ、管理栄養士とのタイアアップレシピ開発。

- ・バランス：業務用と市販用、首都圏と地方、うどんのみならず、他の品目、主婦のみならず、学生へのバランスを考えた活動。

II. 平成23年度の基本方針に基づく具体的な施策

1、RMK マーク認定新基準の平成24年度本格導入に向けた工場指導をメイン施策とする。

(1) RMK認定工場の工場検査

(株)UL ASG JAPAN (旧(株)イーエムエスジャパン)による工場訪問検査

- ・平成21年度技術委員会で決定した新基準で平成23年度は工場検査を実施する。平成24年度本格稼働に向け、改善を急がれる工場にあっては年二回の工場検査、指導及び現場勉強会等を実施、工場ごとの進捗に合わせ傾注度を変えた対応を取る。

(2) 製品一斉検査及びその他衛生管理に関する検査、指導

- ・夏季、冬季の2回、RMK認定の為の確認検査、社団法人日本衛生協会へ委託
- ・工場の個別指導に当たっての必要検査、衛生管理指導等への対応

(3) 品質管理の為の会員工場支援ツール作成と情報提供

- ・平成22年度会員向けホームページに掲載した「必要な記録類のひな形」に引き続き「手順書のひな形」や「アレルギー管理の注意事項」を会員向けホームページへの掲載を実施し、会員企業品質管理の支援ツールとして提示する。

(4) 会員企業向けセミナー、海外研修会の企画

- ・日本冷凍めん協会主催の会員企業向けセミナー、海外研修会の企画を通じて、会員企業各社の意識向上を図る。

2、冷凍めんの普及・啓発を図るとともに、RMK認定マーク制度の認知度向上など協会の取り組みを訴求する。

(1) 10/10 冷凍めんの日イベント

- ・10/8, 10/9の2日間、青山ファーマーズマーケット@UNO 国連大学広場で実施
- ・会員が流通との取り組み、地方イベントの企画の際、役立つ支援ツール作成
- ・支援ツール（ポスター、小冊子、RMKマーク使用のプレゼント企画）配布
- ・「10/10 冷凍めんの日」ロゴマーク商標登録、記念日登録の実施。

(2) 冊子作成

- ・協会の活動と冷凍めんを知って頂くための冊子を作成、会員へ配布する。
- ・冊子への業務用レシピ（栄養バランスシート作成）を管理栄養士の方に開発依頼し、掲載する。

(3) ホームページの改善

- ・技術委員会で引き続き進めている品質管理支援ツールの会員サイト掲載、
- ・会員企業が使用できるメニューの改善等を進める。

- ・冊子の作成内容に基づく冷凍めんを知って頂くための内容に改善。
- (4) レシピコンテストの実施
- ・管理栄養士、栄養士の方々が会員であるサイトを使い、冷凍めんの良さや、協会の安全安心への取り組みを知ることにより、冷凍めんの使用頻度を促進する。更にレシピコンテストを実施する。
 - ・レシピコンテスト入賞作品（栄養バランスシート作成）のホームページ掲載
 - ・コンテストのテーマは「チーズとそば」
 - ・チーズ普及協議会主催の 11/11 チーズフェスタへ参加、異業界との連携で冷凍めんの認知度を上げる。
- (5) 高校生小論文コンテスト協賛
- ・昨年につき毎日新聞主催の「第 1 1 回インターネットによる高校生小論文コンテスト」に社会貢献、およびメディア露出効果の上がる、週刊誌「サンデー毎日」毎日新聞社情報サイト「毎日.jp」の協会広告掲載を実施。
- (6) 冷凍めんの認知度調査の実施
- ・数年前まで 5 回実施されていた調査を今年度末に実施、内容等は新たな項目等検討し追加し実施する。
 - ・調査内容の利用されやすいよう、ホームページ会員サイトに掲載する。

第4号議案

平成23年度収支予算(案)

自平成23年4月 1日
至平成24年3月31日

| 支出の部 | | | 収入の部 | | | |
|-----------------------|------------|-----|---------------|---------|------------|--|
| 科目 | 金額(円) | | 科目 | | 金額(円) | |
| 1・ 団 体 会 費 | 1,700,000 | 1・ | A 会費 | 1 X 23 | 230,000 | |
| 2・ 製 品 検 査 費 | 3,500,000 | 2・ | A' 会費 | 2 X 14 | 280,000 | |
| 3・ 広 報 活 動 費 | 22,200,000 | 3・ | B 会費 | 7 X 22 | 1,540,000 | |
| 4・ 訪 問 検 査 関 係 費 | 10,500,000 | 4・ | C 会費 | 10 X 57 | 5,700,000 | |
| 5・ 研 修 会 関 係 費 | 3,500,000 | 5・ | 準 会費 | 5 X 23 | 1,150,000 | |
| 6・ 調 査 研 究 関 係 費 | 1,600,000 | 6・ | 特 会費 | 10 X 3 | 300,000 | |
| 7・ 工 場 巡 回 関 係 費 | 1,600,000 | | (会費合計) | | 9,200,000 | |
| 8・ 役 員 報 酬 | 7,800,000 | 7・ | 認定マーク料 | | 51,000,000 | |
| 9・ 法 定 福 利 費 | 300,000 | 8・ | 新規認定検査料 | | 0 | |
| 10・ 厚 生 費 | 340,000 | 9・ | 入会金 | 3 | 150,000 | |
| 11・ 事 務 委 託 費 | 5,000,000 | 10・ | 収入利息 | | | |
| 12・ 旅 費 ・ 交 通 費 | 320,000 | | (その他収入合計) | | 51,150,000 | |
| 13・ 賃 借 料 | 960,000 | | | | | |
| 14・ 通 信 費 | 450,000 | | | | | |
| 15・ 総 会 関 係 費 | 900,000 | | | | | |
| 16・ 理 事 会 関 係 費 | 600,000 | | | | | |
| 17・ 委 員 会 ・ 部 会 関 係 費 | 800,000 | | | | | |
| 18・ 会 議 関 係 費 | 700,000 | | | | | |
| 19・ 3 0 周 年 準 備 金 | 5,000,000 | | | | | |
| 20・ 事 務 所 修 繕 費 | 2,000,000 | | | | | |
| 21・ 事 務 用 品 費 | 400,000 | | | | | |
| 22・ 支 払 手 数 料 | 130,000 | | | | | |
| 23・ 慶 弔 費 | 100,000 | | | | | |
| 24・ 新 聞 図 書 費 | 140,000 | | | | | |
| 25・ 印 刷 関 係 費 | 0 | | | | | |
| 26・ 公 租 公 課 | 35,000 | | | | | |
| 27・ 顧 問 料 報 酬 | 380,000 | | | | | |
| 28・ 消 費 税 等 | 230,000 | | | | | |
| 29・ 役 員 退 職 引 当 額 | 650,000 | | | | | |
| 30・ 役 員 退 金 | 0 | | | | | |
| 31・ 予 備 費 | 100,000 | | | | | |
| 支 出 合 計 | 71,935,000 | | 収 入 合 計 | | 60,350,000 | |
| 当 期 繰 越 金 | 12,176,262 | | 前 期 繰 越 剰 余 金 | | 23,761,262 | |
| 総 合 計 | 84,111,262 | | 総 合 計 | | 84,111,262 | |

支出予算の前年実績対比

(単位:円)

| | 科目 | 予算金額 | 前年実績金額 | 差異 |
|-----|-------------------|------------|------------|------------|
| 1・ | 団 体 会 費 | 1,700,000 | 1,700,000 | 0 |
| 2・ | 製 品 検 査 費 | 3,500,000 | 2,746,200 | 753,800 |
| 3・ | 広報活動費(別紙参照) | 22,200,000 | 11,301,723 | 10,898,277 |
| 4・ | 訪 問 検 査 関 係 費 | 10,500,000 | 8,120,000 | 2,380,000 |
| 5・ | 研 修 会 関 係 費 | 3,500,000 | 1,562,212 | 1,937,788 |
| 6・ | 調 査 研 究 関 係 費 | 1,600,000 | 0 | 1,600,000 |
| 7・ | 工 場 巡 回 関 係 費 | 1,600,000 | 838,528 | 761,472 |
| 8・ | 役 員 報 酬 | 7,800,000 | 7,975,000 | -175,000 |
| 9・ | 法 定 福 利 費 | 300,000 | 779,935 | -479,935 |
| 10・ | 厚 生 費 | 340,000 | 369,141 | -29,141 |
| 11・ | 事 務 委 託 費 | 5,000,000 | 4,952,381 | 47,619 |
| 12・ | 旅 費 ・ 交 通 費 | 320,000 | 275,656 | 44,344 |
| 13・ | 賃 借 料 | 960,000 | 660,000 | 300,000 |
| 14・ | 通 信 費 | 450,000 | 480,726 | -30,726 |
| 15・ | 総 会 関 係 費 | 900,000 | 933,065 | -33,065 |
| 16・ | 理 事 会 関 係 費 | 600,000 | 475,452 | 124,548 |
| 17・ | 委 員 会 ・ 部 会 関 係 費 | 800,000 | 796,556 | 3,444 |
| 18・ | 会 議 関 係 費 | 700,000 | 677,525 | 22,475 |
| 19・ | 30 周 年 準 備 金 | 5,000,000 | 0 | 5,000,000 |
| 20・ | 事 務 所 修 繕 費 | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 |
| 21・ | 事 務 用 品 費 | 400,000 | 279,795 | 120,205 |
| 22・ | 支 払 手 数 料 | 130,000 | 80,000 | 50,000 |
| 23・ | 慶 弔 費 | 100,000 | 70,000 | 30,000 |
| 24・ | 新 聞 函 書 費 | 140,000 | 142,617 | -2,617 |
| 25・ | 印 刷 関 係 費 | 0 | 0 | 0 |
| 26・ | 公 租 公 課 | 35,000 | 15,965 | 19,035 |
| 27・ | 顧 問 料 報 酬 | 380,000 | 384,000 | -4,000 |
| 28・ | 消 費 税 等 | 230,000 | 0 | 230,000 |
| 29・ | 役 員 退 職 引 当 | 650,000 | 650,000 | 0 |
| 30・ | 役 員 退 職 金 | 0 | 1,950,000 | -1,950,000 |
| 31・ | 震 災 寄 付 金 | 0 | 1,000,000 | -1,000,000 |
| 32・ | その他経費 | | 280,000 | -280,000 |
| | 費用合計 | 71,835,000 | 49,496,477 | 22,338,523 |

別紙

広報活動費支出予算明細

| | 項目 | 内容 | 予算 | 備考 |
|----|------------------|----------------------------|------------|---|
| 1 | 1、10/10 冷凍めんの日費用 | ①イベント費用(平成23年10月8日、9日両日開催) | 3,500,000 | ・冷凍めんの日 IN ファーマーズマーケット国連大学広場(南青山)イベント |
| 2 | | ②支援ツール作成及び配布 | 1,500,000 | ・ポスター、プレゼント企画等作成及び配布 |
| 3 | | ③マーク商標登録料 | 600,000 | ・10/10 冷凍めんの日マーク商標登録 |
| 4 | 2、冊子作成 | 作成2万部及び配布 | 3,000,000 | ・冷凍めん、協会の取り組み訴求 |
| 5 | 3、ホームページ改善 | 新規作成、情報配信等 | 1,000,000 | ・維持費とは別の新規作成、情報配信等 |
| 6 | 4、レシピコンテスト | 広報企画費、メニュー作成費 | 2,400,000 | ・管理栄養士、栄養士対象、入選10作品について栄養バランスシート付きメニュー・写真 |
| 7 | 5、メニュー開発 | 冊子、HP 改善の為のメニュー開発 | 1,000,000 | ・会員の方に使って頂ける栄養バランスシート付きメニューと写真、業務用レシピ |
| 8 | 6、チーズフェスタ費用 | イベントへのブースを設けての広報活動 | 1,000,000 | ・チーズ普及協議会 11/11 チーズフェスタへの参加 |
| 9 | 7、高校生小論文コンテスト協賛 | 協賛に伴う広告掲載 | 1,500,000 | ・毎日新聞社主催、「サンデー毎日」、「毎日. Jp」 |
| 10 | 8、ホームページ維持管理費 | 冷凍めん協会のサイト管理費 | 2,100,000 | ・HP の管理、会員サイト ID 管理等 |
| 11 | 9、業界紙等への広告掲載等 | 業界紙・関係団体誌への広告等掲載 | 2,600,000 | ・業界紙10社及び関係団体誌への広告、暑中・年始挨拶等掲載費 |
| 12 | 10、全麺連等広報活動・その他 | 全麺連関連の協賛広告、共同企画等 | 2,000,000 | ・年明けうどん HP 維持費、年明けうどん広告等 |
| | | 合計 | 22,200,000 | |

役員改選の件 (案)

1. 改選理由

所属会社等の人事異動等に伴う役員改選

2. 理事候補者名

理事2名の退任と選任および監事2名の退任と1名の選任

理 事

二口 信男 (ふたくち のぶお) 退任
(フレッシュ・フード・サービス株式会社代表取締役社長)

月崎 暁 (つきざき さとる) 選任
(フレッシュ・フード・サービス株式会社専務取締役)
(平成23年6月28日付で代表取締役社長)

小松原義親 (こまつばら よしちか) 退任
(日清食品冷凍株式会社常務取締役)

友政 克己 (ともまさ かつみ) 選任
(日清食品冷凍株式会社代表取締役社長)

(平成23年4月1日)

監 事

服部 進 (はっとり すずむ) (合資会社服部製麺所代表社員) 退任

清都崇史 (きよと たかふみ) 退任
(日本リッチ株式会社代表取締役社長)

宮田一正 (みやた かずまさ) 選任
(日本リッチ株式会社取締役)
(平成23年6月20日付けで代表取締役社長)